

令和2年度事前評価(自主的点検)実施地区一覧表

(1)国有林直轄治山事業

中部森林管理局

整理 番号	都道 府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総事業費 (千円) ※税込み	総便益 B (千円)	総費用 C (千円) ※税抜き	分析結果 B/C	チェックリスト																備考					
										I 必須事項					II 優先配慮事項																
										1	2	3	4	5	1 有効性			2 効率性	3 事業の実施環境等												
															(1)	(2)	(3)		(1)	(1)	(2)	(3)	(4)					(5)			
																							①	②	③		④	⑤	①	②	③
1	富山	富山森林管理署	復旧治山	東又谷上流	ひがしまただにじょうりゅう	418,000	1,491,766	372,170	4.01	○	○	○	○	○	A	A	-	A	B	A	C	A	B	A	B	C	A	C	C		
2	長野	北信森林管理署	復旧治山	保科川上流	ほしながわじょうりゅう	484,735	1,343,512	381,313	3.52	○	○	○	○	○	A	B	-	A	A	A	B	A	A	A	B	B	A	B	A		
3	長野	北信森林管理署	保安林整備	千曲川下流	ちくまがわかりゅう	45,886	117,565	38,628	3.04	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	C		
4	長野	中信森林管理署	保安林整備	中部山岳	ちゅうぶさんがく	71,106	182,154	57,555	3.16	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	C		
5	長野	東信森林管理署	復旧治山	高屋沢	たかやさわ	439,803	849,797	334,270	2.54	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	B	A	A	A	B	B	A	B	C		
6	長野	木曽森林管理署	復旧治山	押手沢	おしでさわ	92,714	591,260	78,248	7.56	○	○	○	○	○	A	B	B	A	B	A	B	A	B	A	A	B	A	A	B		
7	長野	木曽森林管理署	復旧治山	倉本湯川	くらもとゆがわ	198,768	345,559	166,500	2.08	○	○	○	○	○	A	B	B	A	A	A	B	A	B	A	B	B	A	A	B		
8	長野	伊那谷総合治山事業所	復旧治山	車沢	くるまさわ	98,340	189,374	85,958	2.20	○	○	○	○	○	A	A	B	A	B	A	B	A	A	A	A	B	A	A	B		
9	岐阜	飛騨森林管理署	保安林整備	宮・庄川	みや・しょうがわ	201,628	794,714	169,731	4.68	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	C		
10	岐阜	岐阜森林管理署	保安林整備	長良川	ながらがわ	7,701	24,702	6,234	3.96	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	C		
11	愛知	愛知森林管理事務所	保安林整備	尾張西三河	おわりにしみかわ	26,050	45,641	21,086	2.16	○	○	○	○	○	-	A	A	B	A	-	A	-	B	B	A	B	A	A	C		

別紙様式9

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和3年度～7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ひがしまただにじょうりゅう 東又谷上流 (富 山 県)
事業目的	<p>本地区は、富山県の東部に位置し、立山連峰北側の山岳群(毛勝三山)を流域界とする片貝川の源流である。片貝川は約27kmで海へ流れ込む急流であり、厳しい気象条件や破碎作用を強く受けた地質条件から、豪雨・雪解けの際には土砂の生産が著しく、流域下流部においては幅100m以上の広大な堆積帯を形成している。</p> <p>流域界の山頂部は特殊荒廃地が分布するため、溪流内には流出した不安定土砂が大量に堆積しており、今後の集中豪雨等により流出し、下流の保全対象に被害を与える恐れが高い。このため、溪間工による山脚の固定、溪床の侵食防止、不安定土砂の流出防止などを図り、下流の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署
主な事業内容	溪間工 2基				
主な保全対象	発電所関連施設、市道 2000m、橋梁 2箇所				
総事業費	418,000 千円(税抜き 380,000千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図
 東又谷上流地区
 縮尺=1/50,000



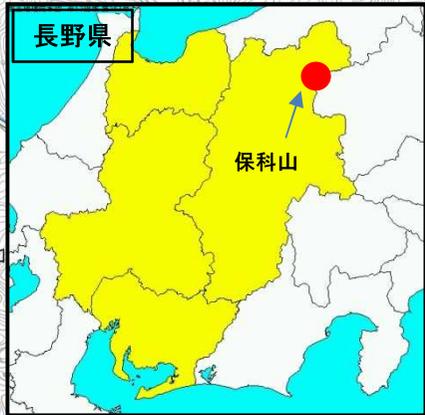
凡 例	
事業評価区域	
保全対象区域	

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和3年～令和11年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ほしながわじょうりゅう 保科川上流 (長野県)
事業目的	<p>当該地区は、長野県長野市の南東部、上田市菅平高原の西北斜面に位置し、地質は、保基谷岳から四阿山に係る火山地帯に影響を受けた安山岩類・変質玄武岩などの火山岩で構成され、酸性度の非常に強い土壌である。</p> <p>過去には平成29年8月の豪雨により、山腹崩壊が発生し、土砂等が林道の路面上を流下して県道に流出し、通行止めとなる被害が発生した。また、令和元年東日本台風では、新規崩壊地や崩壊地の拡大等が発生しており、下流域では、県道が流出し、県による災害復旧工事を行っているところである。</p> <p>本地区は、降雨の度に新生崩壊地の発生や山腹工施行地の再崩壊など荒廃が進行しており、豪雨時には不安定土砂が流出し下流の保全対象に影響を与える危険がある為、山腹工により崩壊地の拡大防止を図り、下流域の安全を確保する。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署
主な事業内容	山腹工 1.28ha				
主な保全対象	家屋35戸、橋梁12箇所				
総事業費	484,735千円(税抜き 440,668千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

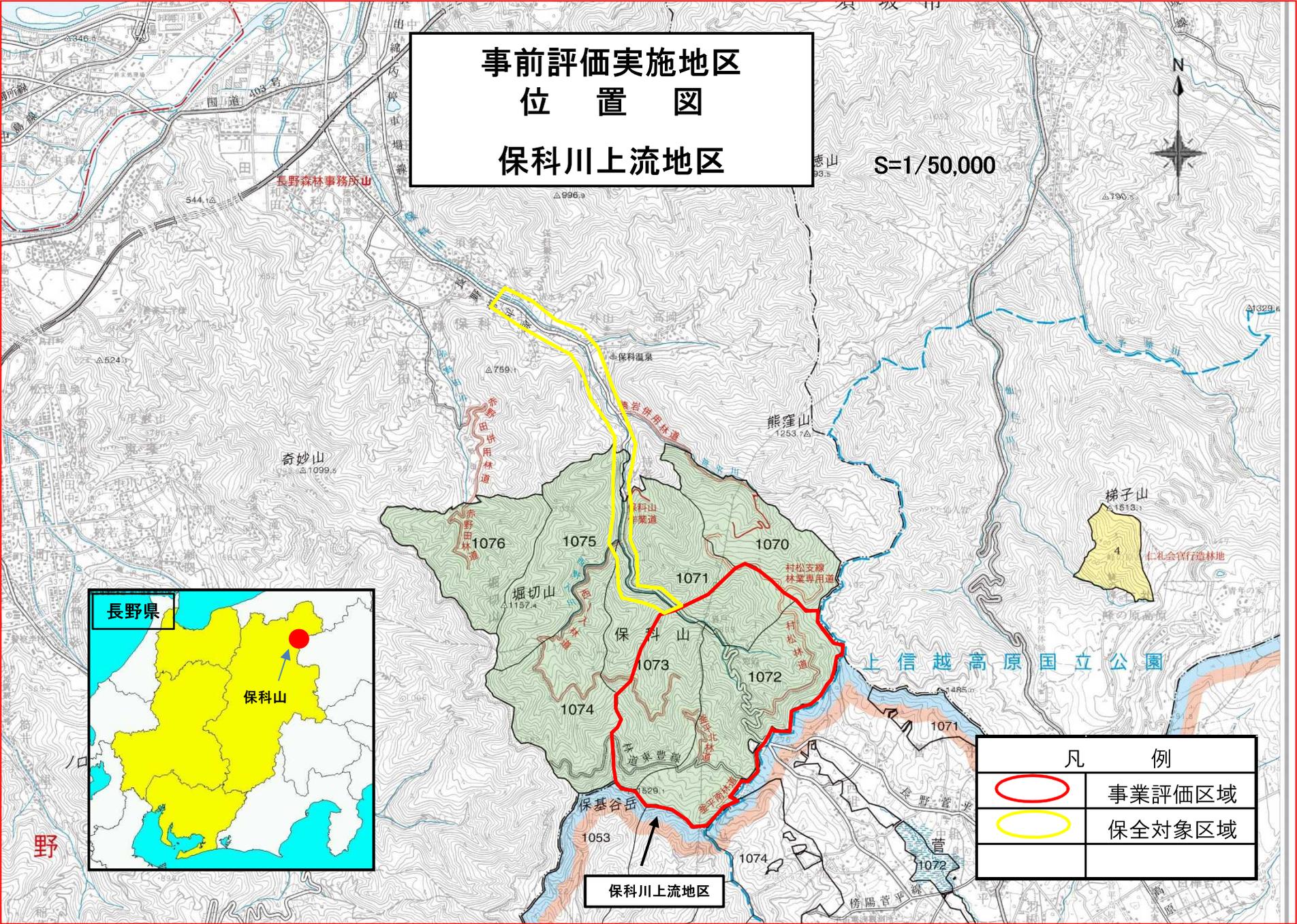
事前評価実施地区 位置図 保科川上流地区

S=1/50,000



凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

保科川上流地区



地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和2年度～令和6年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ちくまがわかりゅう 千曲川下流 (長野県)
事業目的	<p>当地区は、長野県の北部で地区の中央部を縦断して日本海に向け北流する千曲川の下流域に位置する。森林の現況は面積割合で人工林が21%、天然林が79%の比率で、流域北部はブナ等の広葉樹を主体とした天然林が多く、南部はカラマツ、スギ等の人工林が多くなっている。</p> <p>当地区は、大部分が新潟、群馬両県境の稜線部を含む奥地に所在していることから、国土保全及び水源涵養当の公益的機能の発揮に重要な役割を担っており、国有林野面積の約91%が水源かん養保安林等に指定され重要な水源地帯となっている。</p> <p>事業対象森林は、8～14齢級を主体とした林分で、過密状態が進行しそのまま放置すれば、下層植生の衰退等で表土の流出による崩壊の発生や土砂、流木の流出などのおそれがあり、水土保持機能の低下が懸念される保安林となっている。</p> <p>このため、本数調整伐等の森林整備で、水源涵養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署
主な事業内容	本数調整伐等 279ha				
主な保全対象					
総事業費	45,886千円(税抜き 41,715千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

千曲川下流森林計画区



凡 例	
	評価区域

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和3年度～令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ちゅうぶさんがく 中部山岳 (長野県)
事業目的	<p>当地区は、長野県北西部に位置し、日本海に注ぐ奈良井川、梓川、高瀬川等の北アルプスの源流地域に広く分布している。流域中央部にはフォッサマグナ(糸魚川・静岡構造線)が南北に縦断するため、地形は急峻で地質も脆弱なことから土砂流出が盛んな流域が多く、国有林の約95%が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定されている。</p> <p>森林の現況は面積割合で人工林が17%、天然林が83%の比率で、人工林の7割がカラマツで10～14齢級を主体に構成されている。</p> <p>事業対象森林は、過密状態が進行しそのまま放置すれば、下層植生の衰退等で表土の流出による崩壊の発生や土砂、流木の流出などのおそれがあり、水土保持機能の低下が懸念される保安林となっている。</p> <p>このため、本数調整伐等の森林整備で、水源涵養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署
主な事業内容	本数調整伐等 356ha				
主な保全対象					
総事業費	71,106千円(税抜き 64,642千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
中部山岳森林計画区



凡 例	
	評価区域

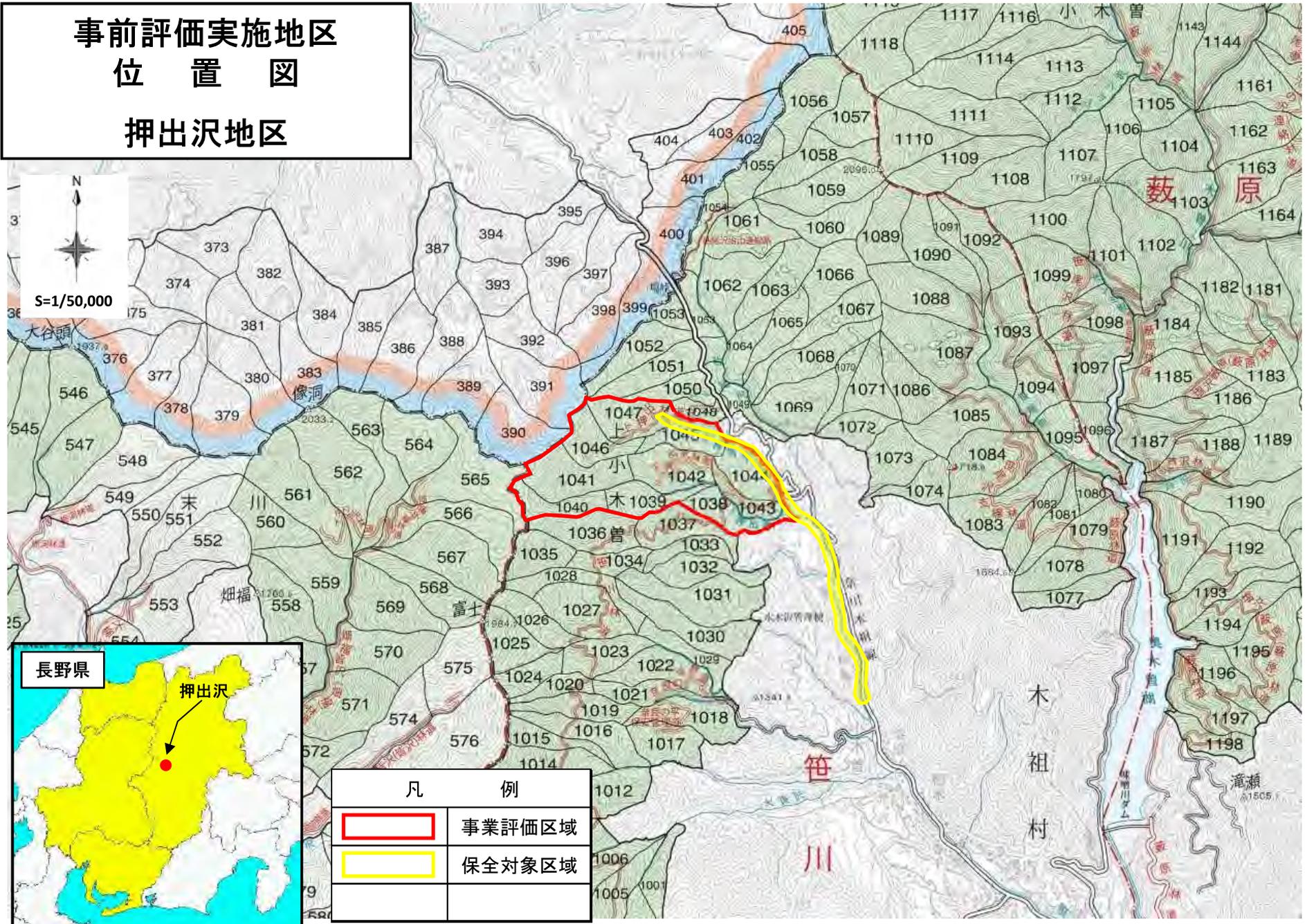
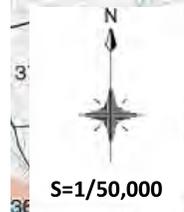
地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和3年度～令和10年度	事業実施地区名 (都道府県名)	たかやさわ 高屋沢 (長野県)
事業目的	<p>当該地区は、長野県上田市の北東部に位置し、斜面傾斜は比較的緩いものの、浅間山以西の火山群による安山岩類が火山噴出物と互層するため風化が進み斜面強度が低い。令和元年10月の台風19号では、豪雨により大規模な土石流が発生し、併用林道や農耕地、国道等に多大な被害を及ぼした。</p> <p>本流においては災害関連治山事業により溪間工を実施しているが、未だ地区内の溪床や崩壊地内には不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により再び土石流の発生が危惧されるため、溪床内の不安定土砂及び溪岸、山脚の固定のための溪間工、また、崩壊地内の不安定土砂の固定及び崩壊の拡大を防止するための山腹工を計画して流域の安定化を図り、下流保全対象の安全を確保する。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
主な事業内容	溪間工4.0基、山腹工2.39ha				
主な保全対象	家屋12戸、農耕地3.7ha、水道施設1箇所、国道1.3km、林道2.1km				
総事業費	439,803千円(税抜き 399,820千円)				
位置図	別紙位置図のとおり				

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和3年度～令和5年度	事業実施地区名 (都道府県名)	おしでさわ 押出沢 (長野県)
事業目的	<p>本地区は、木曾川の源流である長野県木祖村内に位置し、周辺には蓺原高原スキー場、水木沢天然林、縁結神社などの施設があり多くの観光客が訪れている。</p> <p>本地区は、広範囲に花崗岩類が分布しているが、活断層の影響により極めて脆弱な地質構造で、過去より土砂災害が多発している。</p> <p>令和2年7月の豪雨で、新生崩壊地の発生や山腹崩壊地の拡大による発生土砂が流出したため、下流別荘地の水道施設等が被災した。新生崩壊地内には倒木や不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により流出し下流の保全対象へ被害を与える危険性が高い。このため、山腹崩壊地の復旧とともに、溪床内に堆積している不安定土砂の流出を抑止するため溪間工を配置し下流域の保全を図る。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署
主な事業内容	溪間工1基 山腹工0.23ha				
主な保全対象	家屋8戸、県道1,070m、村道260m、林道57m、橋梁6箇所				
総事業費	92,714千円(税抜き 84,285千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 押出沢地区

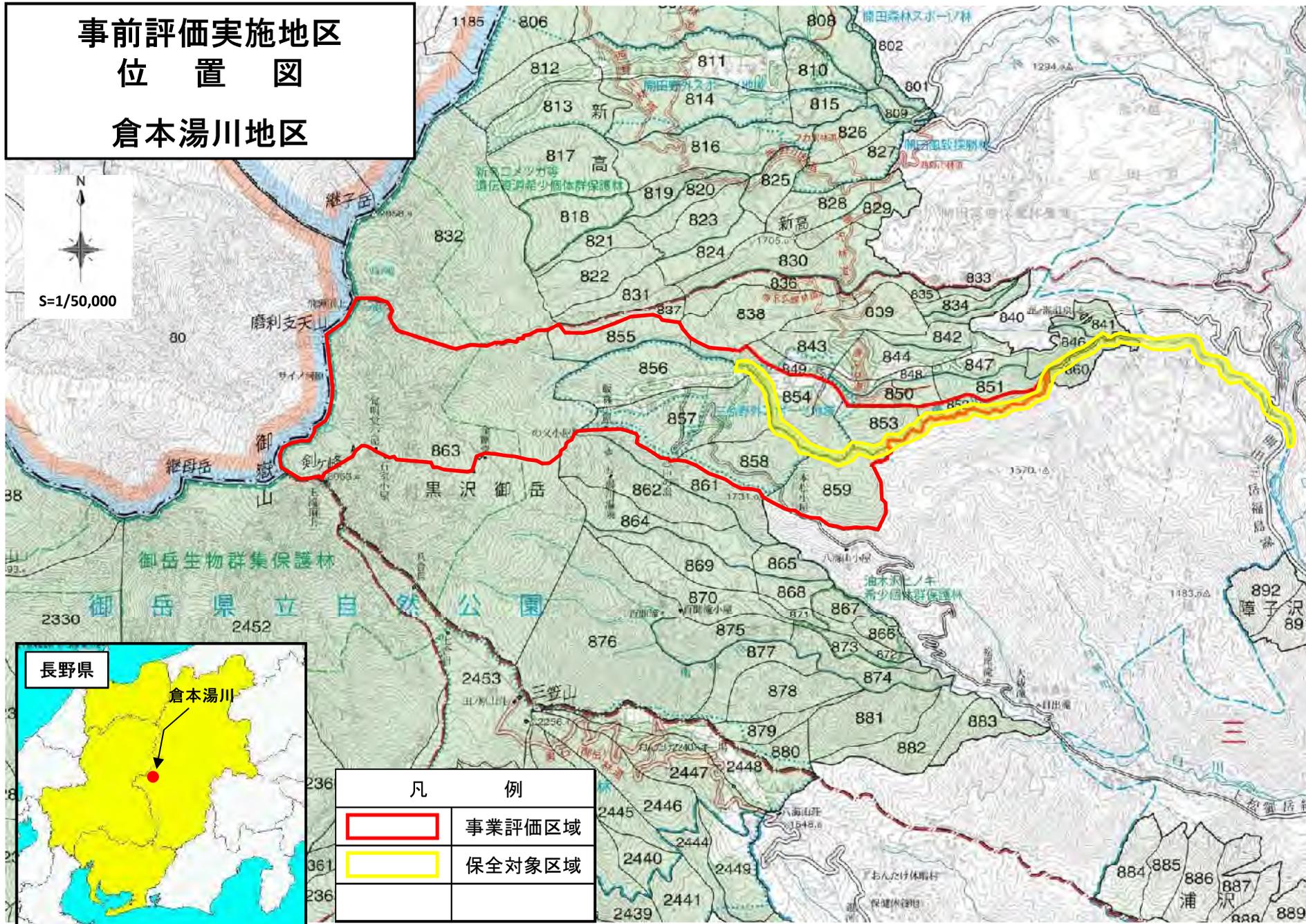


凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和3年度～令和5年度	事業実施地区名 (都道府県名)	くらもとゆがわ 倉本湯川 (長野県)
事業目的	<p>本地区は、長野県西部の御嶽山の東斜面に位置し、地区内には、観光拠点となる御岳ロープウェイがあり、多くの観光客で賑わうとともに、下流域の広大な山麓には、温泉、牧場、保健休養地などがあり、地域の活性化を含めた種々の取り組みが行われている。</p> <p>平成30年7月の集中豪雨では、山腹崩壊地の拡大や溪岸侵食による荒廃が進み、溪床内には不安定な土砂が堆積している状況である。今後の降雨等による山腹崩壊地の拡大や不安定土砂の流出により、下流保全対象に被害を与える危険性があることから、山腹工及び溪間工(治山ダム)を実施し、山腹斜面、溪床の安定化、下流域の保全を図る。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署
主な事業内容	溪間工2基、山腹工0.32ha				
主な保全対象	家屋2戸、橋梁2箇所				
総事業費	198,768千円(税抜き 180,698千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
倉本湯川地区



N
S=1/50,000

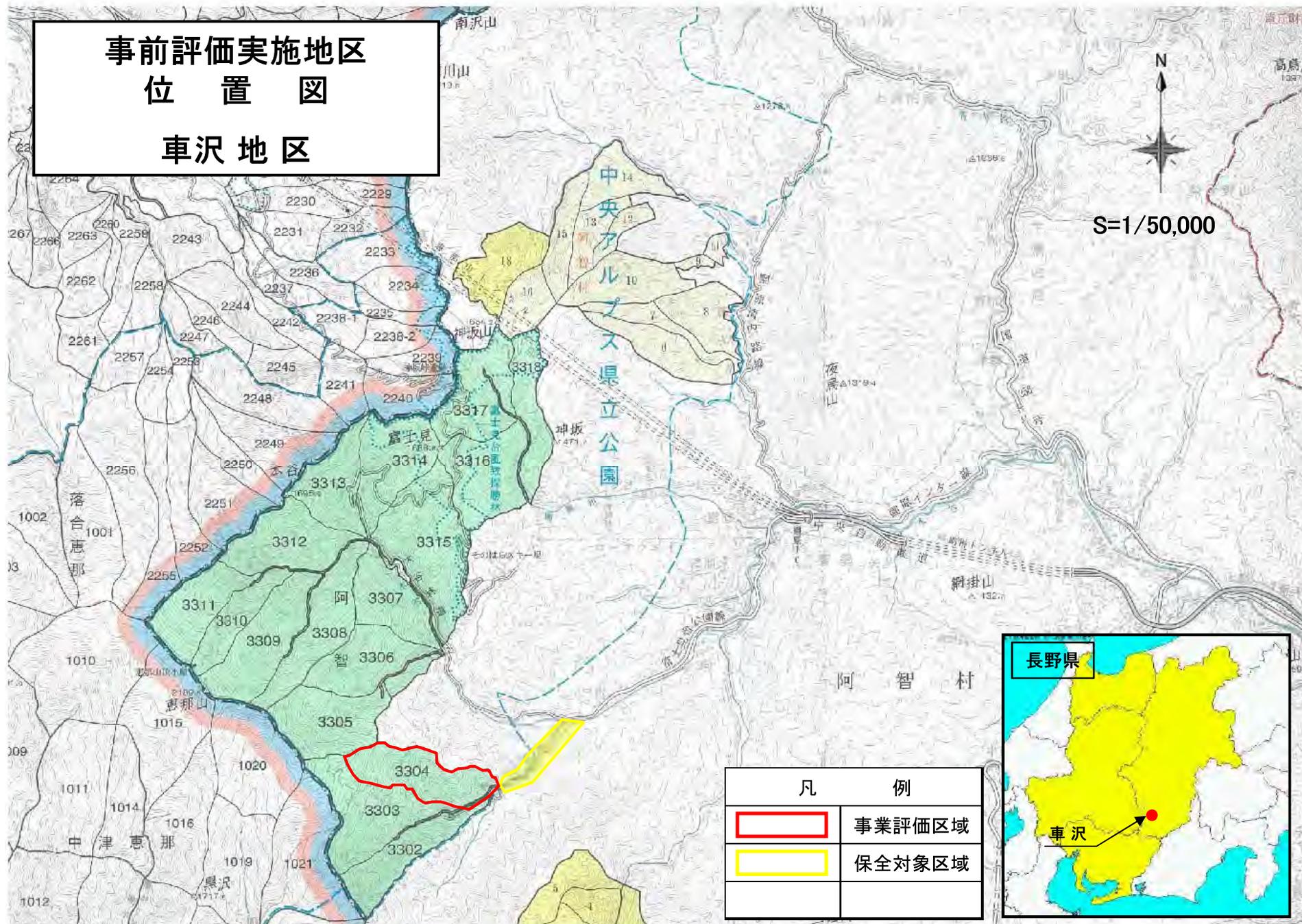


凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域

地区概要表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	令和3年度	事業実施地区名 (都道府県名)	くるまさわ 車沢 (長野県)
事業目的	当該地区は、長野県下伊那郡阿智村の西端部の木曾山脈東斜面に位置し、急峻な地形と脆弱な地質構造に加え、山岳気象に起因する局地的集中豪雨や凍結・融解等により、崩壊斜面・急崖斜面表層部分の風化侵食が著しく、発生した多量の不安定土砂が溪流内に堆積している。令和2年7月豪雨の影響により、崩壊地の拡大や溪流内に堆積した土砂の流出が確認され、そのまま放置すると今後の豪雨等により崩壊地がさらに拡大し、多量の土砂が下流の保全対象に流出する危険性がある。このことから山腹工により崩壊地の拡大を防止し、溪間工により不安定土砂の固定、流出を抑止し、下流域の保全を図ることを目的に本事業を実施する。			事業実施主体	中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所
主な事業内容	溪間工1.0基、山腹工1.28ha(5箇所)				
主な保全対象	村道1900m、橋梁1箇所、水道施設				
総事業費	98,340千円(税抜き 89,400千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図 車沢地区



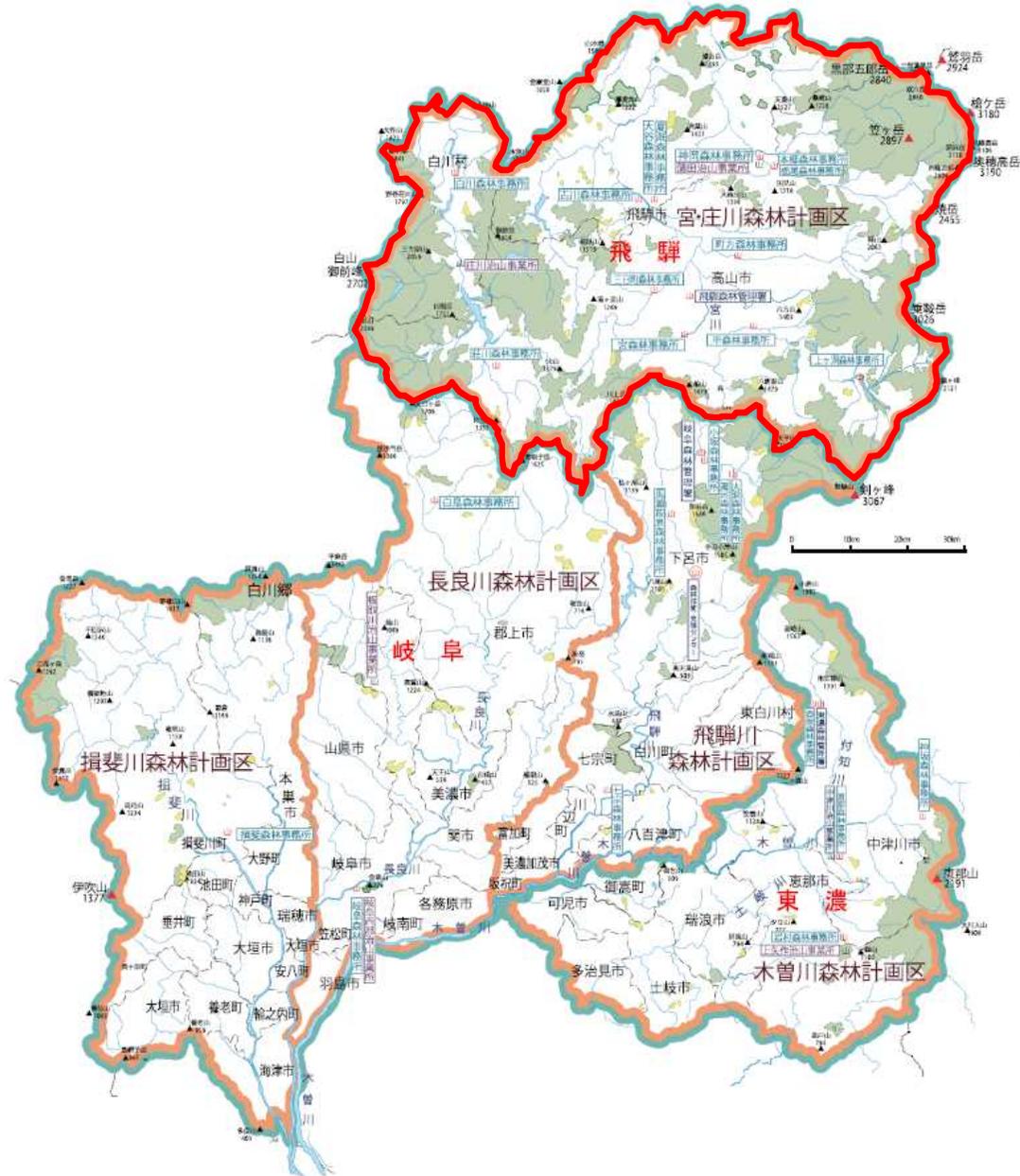
凡 例	
	事業評価区域
	保全対象区域



地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和2年度～令和6年度	事業実施地区名 (都道府県名)	みや・しょうがわ 宮・庄川 (岐阜県)
事業目的	<p>当地区は、岐阜県飛騨地方の北部に位置し日本海(富山湾)及び太平洋(伊勢湾)に注ぐ主要河川の源流地域にあって、国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っており、国有林面積の99%が保安林に指定されている。</p> <p>森林の現況は面積割合で人工林が36%、天然林が64%の比率で、人工林はカラマツ、スギ、ヒノキの10～14齢級を主体に構成されている。</p> <p>事業対象森林は、過密状態が進行しそのまま放置すれば、下層植生の衰退等で表土の流出による崩壊の発生や土砂、流木の流出などのおそれがあり、国土保全機能の低下が懸念される保安林となっている。</p> <p>このため、本数調整伐等の森林整備で、水源涵養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署
主な事業内容	本数調整伐等 1,180ha				
主な保全対象					
総事業費	201,628千円(税抜き 183,298千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区
位置図
宮・庄川森林計画区



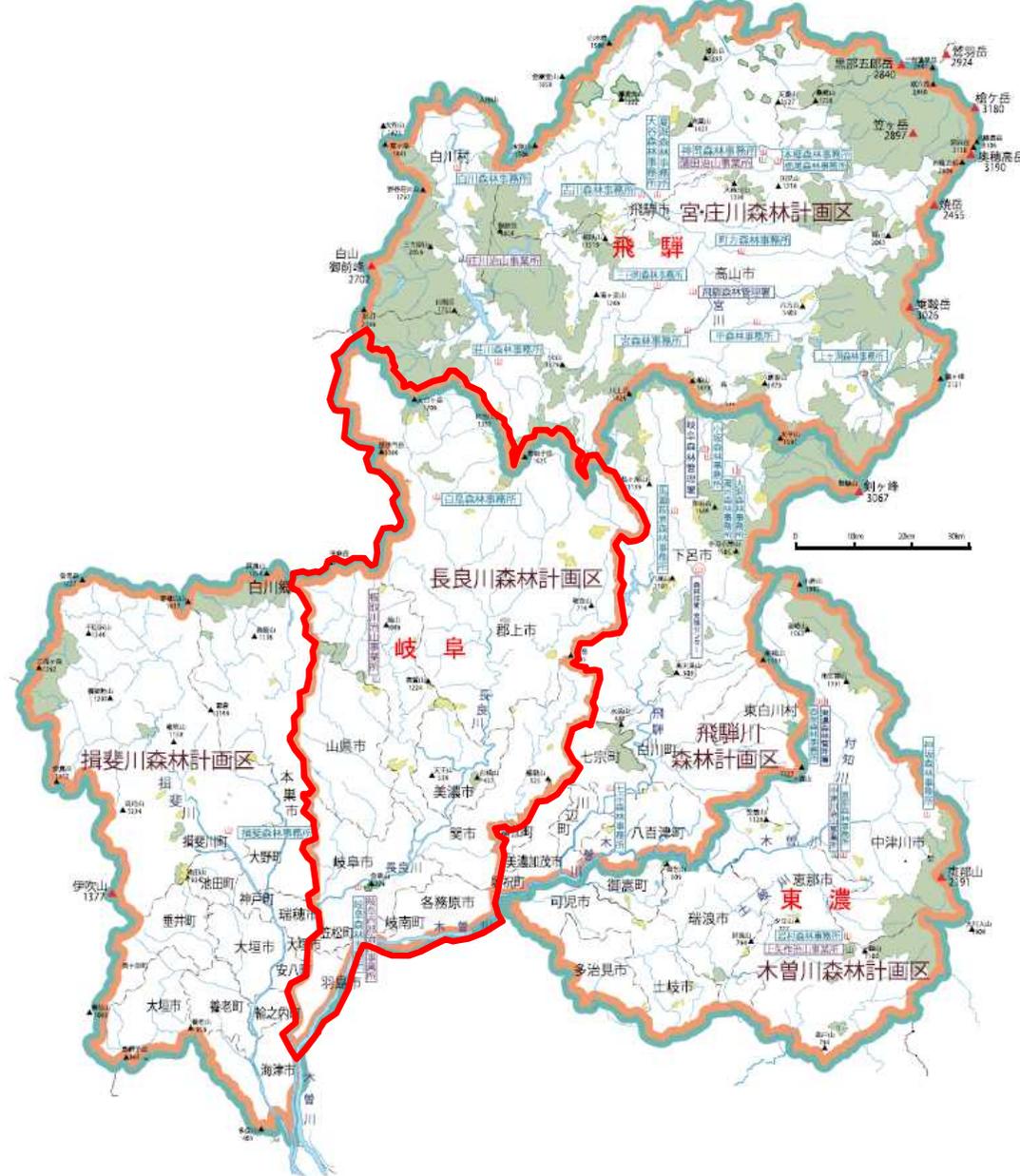
凡 例	
	評価区域

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和3年度～令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	ながらがわ 長良川 (岐阜県)
事業目的	<p>当地区は、岐阜県美濃地方の中央部に位置し、両白山地を源とする長良川の源流部から下流部の岐阜市に至る区域に点在し、都市近郊林から美濃・飛騨の分水嶺を成している大日ヶ岳周辺まで自然観察や森林レクリエーションの場として多くの人に利用されている。</p> <p>地形は、両白山地を含め中小河川の源流部に所在するため急峻であり、全域が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定され、一部は県立自然公園に指定されている。</p> <p>森林の現況は面積割合で人工林が74%、天然林が26%の比率で、人工林の86%がスギ、ヒノキが占め11～14齢級を主体に構成されている。</p> <p>事業対象森林は、過密状態が進行しそのまま放置すれば、下層植生の衰退等で表土の流出による崩壊の発生や土砂、流木の流出などのおそれがあり、水土保持機能の低下が懸念される保安林となっている。</p> <p>このため、本数調整伐等の森林整備で、水源涵養機能等の保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
主な事業内容	本数調整伐等 37ha				
主な保全対象					
総事業費	7,701千円(税抜き 7,001千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

長良川森林計画区



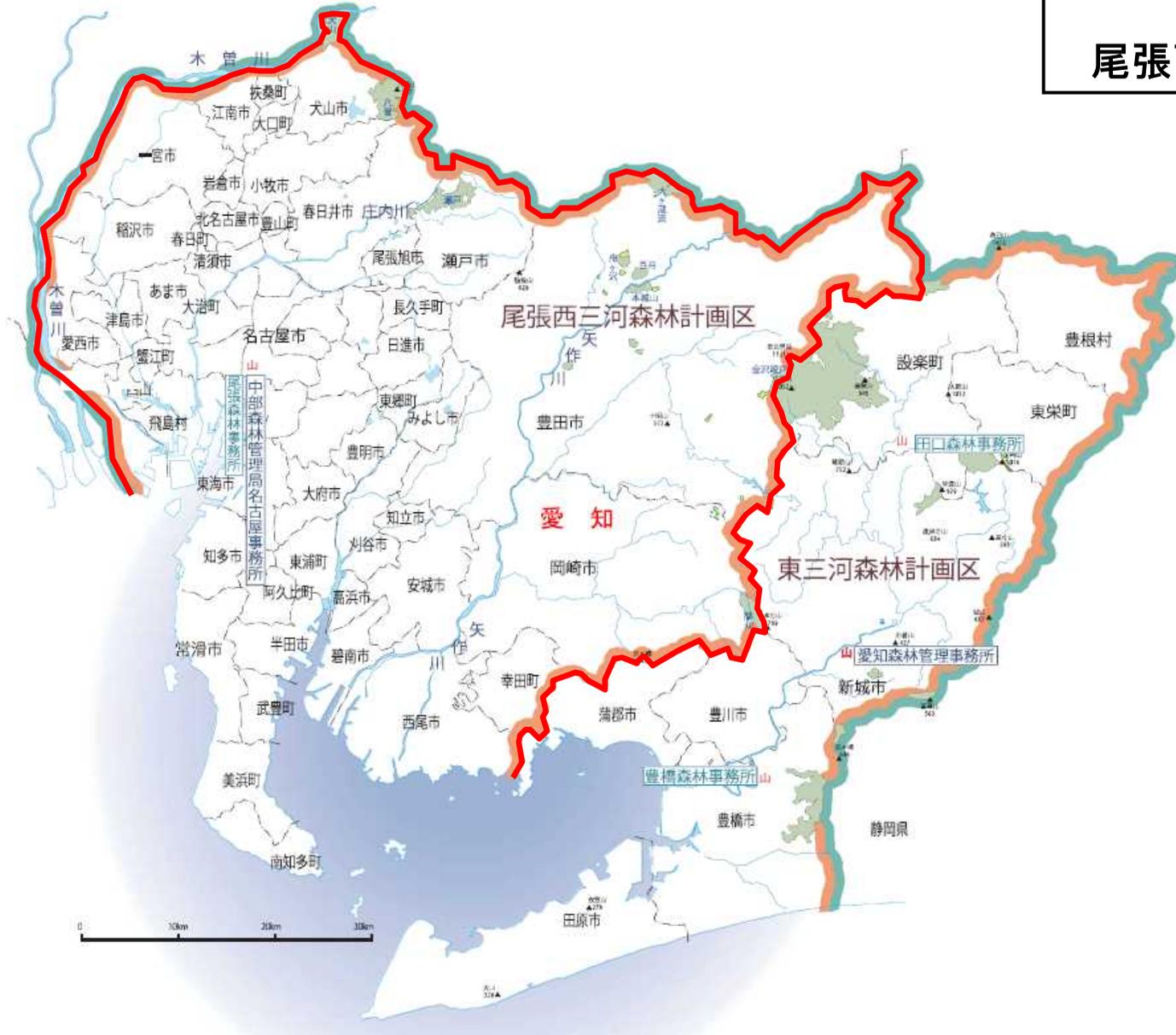
凡 例	
	評価区域

地区概要表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	令和3年度～令和7年度	事業実施地区名 (都道府県名)	おわりにしみかわ 尾張西三河 (愛知県)
事業目的	<p>当地区は、愛知県西部及び中部に位置し、岐阜県境から広がる尾張丘陵や洪積台地、また美濃三河高原のなだらかな山並みに数百ha程度の小団地が分散・点在している。 多くは、国定公園、県立自然公園、自然休養林に指定され、中京圏の都市近郊林として地域住民に親しまれている。 地形は概ね緩やかであり、地質の主体は花崗岩類でマサ化している箇所が多いため表層崩壊が発生しやすい。このため、ほぼ全域が土砂流出防備保安林に指定され、国土保全等の公益的機能を発揮する上で重要な役割を果たしている。 森林の現況は面積割合で人工林が81%、天然林が19%の比率で、人工林の大部分がスギ、ヒノキ等で10～13齢級を主体に構成されている。 事業対象森林は、過密状態が進行しそのまま放置すれば、下層植生の衰退等で表土の流出による崩壊の発生や土砂、流木の流出などのおそれがあり、山地災害防止機能の低下が懸念される保安林となっている。 このため、本数調整伐等の森林整備で、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p>			事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
主な事業内容	本数調整伐等 99ha				
主な保全対象					
総事業費	26,050千円(税抜き 23,682千円)				
位置図	別紙 位置図のとおり				

事前評価実施地区 位置図

尾張西三河森林計画区



凡 例	
	評価区域